

平成 22 年 3 月 19 日

中部飼料株式会社

平成 22 年 4～6 月期の畜産配合飼料販売価格のお知らせ

平成 22 年 4～6 月期の畜産配合飼料販売価格については、以下の飼料原料・外国為替情勢などを踏まえ、平成 22 年 1～3 月期に対し、全畜種平均トン当たり 500 円値下げすることを決定いたしました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

飼料穀物

米国産とうもろこしは史上最高の生産量を記録する中、投機筋の買いで上昇後、原油の下落とともに下落しました。とうもろこしの需給よりも投機筋の動向が大きく影響する状況です。

蛋白原料

米国産大豆の史上最高の生産量に加え、南米産大豆も順調に生産されております。中国の 4,000 万 t という需要はありますが、南米産大豆が順調なことから弱基調にあります。

海上運賃

ガルフ-ジャパンのフレートは 2 月中旬に一時ゆるみましたがその後、中国の旺盛な船舶需要と投機筋の買付により高値で推移しております。

外国為替

世界経済は昨年を底にして回復基調にありますが、今年に入りユーロ圏の財政破綻懸念から円高基調にあります。

* お問い合わせ先

中部飼料株式会社 仕入部（長野） TEL：045-585-1471

以上